

# 私の提言

**高山俊達** 東京交通少年団 企画広報委員長

## 子どもたちが行う地域の交通安全活動。 「交通少年団」を通じて、交通社会人を育てよう!



子どもの交通事故が多発していた1970年、東京・江戸川区の小松川地区に全国初の交通少年団が誕生した。小松川地区では前年に13人の子どもが交通事故で亡くなるという未曾有の事態に住民と学校、警察、青年会議所などが連携して子ども自身も交通安全を訴える組織を立ち上げた。こうした取り組みにより子どもの交通事故死者は、70年、71年と各2人に減少。この成果を受けて、警視庁と(財)東京交通安全協会は地域の交通安全協会に小学生を主体とする交通少年団の結成を呼びかけ、都内各地に次々と交通少年団が生まれた。現在は都内で97団、約5000人が活動している。

また、都内を10方面に区分し、各方面で統一行事を実施し、交通安全のイベントや運動会などで各団の交流を図っている。このほか、今年2月に初めて、交通少年団独自の自転車競技大会を開催した。

高山さんは(財)東京交通安全協会の傘下である東京交通少年団企画広報委員長を務めるとともに、四谷交通安全協会副会長で四谷交通少年団団長を兼任している。高山さんによると、四谷交通少年団の団員は小学2年生から6年生までで現在、47名。鼓笛隊の活動も行っている。鼓笛隊は都内の交通少年団の約半数が持っている、交通安全のイベントに参加している。また、学校や地域の町内会・自治会などの要請で、運動会や周年行事などにも参加し、地域との交流を深めているという。

交通安全を通じて、子どもたちに「交通のきまり」や「交通マナー」を身につけさせて、子どもたちが「やさしさ」と「思いやりの心」をもった社会人に育つことをめざしている。地域での活動のほかに、夏休みには各少年団の小学校高学年を対象にリーダー団員の研修を実施している。今年1泊2日の研修会に163名が参加し、集団行動訓練、スポーツなどを行った。

### 地域が支える少年団の活動

交通少年団の活動を支えているのは地域の人々だ。四谷交通少年団の場合、「団を運営するスタッフは現団員や元団員のお母さんなどが中心で、みなさんボランティア。鼓笛隊の指導もお母さんたちと、団を卒業した中学生のOBがボランティアでやってくれます。こうした地域の応援があつて成り立っていますから、地域との絆が大切ですよ」と高山さんは話す。こうした地域の応援、協力に対し、交通少年団は地域貢献の活動に力を入れている。四谷では、10年ほど前から1人暮らしのお年寄りのお宅をひな祭りや敬老の日に訪ねて、交通安全や事故防止を呼びかけています。人に交通安全を呼びかけることで、自分の行動がしっかりとできるということもつながります。高山さんは、子どもたちが集団の中で交通安全の活動を実践することによって、学校を超えた交流や地域との絆を図り、地域の子どものための指導的立場となる交通社会人に育つことを願っている。



都内一の団員数を有する向島交通少年団では、月2回子どもたちがミニバトカーに同乗し、「今日も1日安全運転をお願いします」などと呼びかける交通安全広報を行っている

## 危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

## 第6回 渋滞車両の左横を走行していたら… (二輪車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を育てるための題材を提供します。今回は二輪車のライダーに、渋滞車両の横を走行する際の危険を考えてもらうためのKYTです。企業/団体などでのグループ教育の学習の中で活用してください。



あなたは、左カーブにさしかかっています。  
カーブが渋滞しているので、クルマの左横を走っています。  
このような場面では、どんなことに注意しますか？

正解を1つ、または2つ選んでください

### Q1 どのような危険が考えられますか？

- ① 渋滞で止まっているクルマは、ドア開きに注意していればとくに心配はない
- ② 渋滞車両の中に、左にある本屋に入るため後方を確認せずに左折するクルマがいる
- ③ 見えないカーブの向こうから自転車が走ってくるかもしれない

### Q2 どんな運転をすればいいでしょうか？

- ① 渋滞を早く脱出するため、できるだけスピードを上げて走る
- ② カーブの向こうから、自転車がくることを予測して運転する
- ③ 左折車や道路脇から出るクルマを予測し、ブレーキがかけられるよう準備して走る

© 本田技研工業(株)

### 活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見ながら、Q1、Q2について意見を出し合います。
- ③ その後、「解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すればいいか再び話し合ってください。

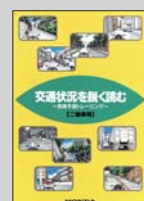
※ 「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJのホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

### 【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03 (5412) 1736



今回のKYTの題材は、Hondaの危険予測トレーニング教材「交通状況を鋭く読む〜危険予測トレーニング(二輪車用)」から抜粋しています。詳細については以下ホームページ参照。

<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/kyt/training/>